

千田稔館長公開講座 図書館劇場Ⅳ 第六幕



平城京をめぐる宮都マングラ

長岡京

—なぜ平城京は廃都されたか—

講演① 「長岡京遷都と造営プラン」

清水^{しみず} みき氏 (三重大学人文学部講師)

朗読 司馬遼太郎著『空海の風景』より

都築^{つづき} 由美氏 (アナウンサー)

講演② 「長岡京の場所が宮都になったのはなぜか」

千田^{せん だ} 稔^{みのる} (当館館長)

日時：平成 22 年 3 月 27 日(土)

13:00～16:00 (開場 12:00)

場所：1 階 交流ホール

図書情報館では、開館以来、「館長公開講座 図書館劇場」と銘打ち、平城京を巡る歴史から、また吉野から、現在では忘れられている奈良の先進性や原風景を明らかにしてきました。そして、平城遷都 1300 年。今年度は『平城京をめぐる宮都マングラ』をメインテーマに、奈良時代の都の変遷をたどり、遷都 1300 年の奈良の姿を浮き彫りにしてきました。今年度最終回第六幕は「長岡京—なぜ平城京は廃都されたか」をテーマに開催します。なお、本公開講座は毎回、奇数月の第4土曜日の 13:00～16:00 に開催しています。

長野県生まれ。奈良女子大学大学院文学研究科修了。専門は日本古代史。

大学院では古墳時代の国造制を研究。古代の都・長岡京（784-794年）跡にある京都府向日市教育委員会に就職し、長岡京遷都1200年を記念して京都府が設立した向日市文化資料館の学芸員、また文化財保護行政を担当した。

古代都城の問題や出土文字資料を主な研究対象とする。現在、三重大学人文学部講師。博士（文学）。

《著書・論文》「長岡京造営—二つの画期をめぐって—」（『ヒストリア』110号、1986年）、「長岡京市史」本文編一・資料編二（1992年、1996年）、「桓武朝における遷都の論理」（『日本古代国家の展開』上巻、思文閣出版、1995年）、「東院出土木簡の意義」（『日本史研究』461号、2001年）、「知識と文字瓦」（『文字と古代日本』4、吉川弘文館、2005年）、「桓武天皇の来た道—光仁朝行幸の史的意義—」（『桓武と激動の長岡京時代』国立歴史民俗博物館、2008年）、「外戚土師氏の地位—桓武朝の皇統意識に関わって—」（『平安京とその時代』思文閣出版、2009年）など。

参加申込み

定員：300名、先着順（定員になり次第締め切ります。）

参加料：1人 500円（資料代等、当日、受付にて徴収します。）

申込方法：往復はがき、FAX、メール、電話または来館による申込みもできます。

（2階カウンターにて受け付けます。）

なお、当館ホームページ「申込みフォーム」からもお申込みいただけます。

※ ① 郵便番号・住所 ② 氏名 ③ 連絡先電話番号（FAXでのお申込みの場合は、必ずFAX番号もお書きください。）を記入し、「図書館劇場Ⅳ第6幕申込み」と明記してください。また、往復はがきで申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号、住所、氏名を必ず記入してください。

※ 1通につき、2名様までのお申込みとします（2名申込みの場合はその旨明記してください）。

お問い合わせ・申し込み先

奈良県立図書情報館

申込み専用アドレス：

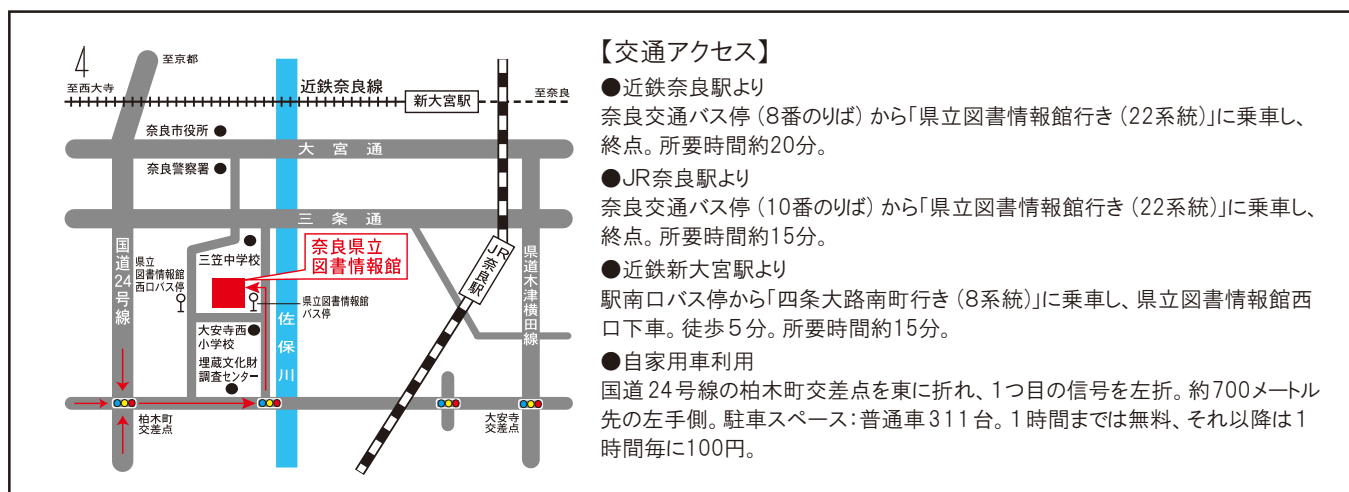
koen@library.pref.nara.jp

〒630-8135

奈良市大安寺西1丁目1000番地

TEL 0742-34-2111 FAX 0742-34-2777

URL : <http://www.library.pref.nara.jp>



※ 図書館劇場Ⅴ（予告）

平成22年度のメインテーマ「平城京をめぐる群像」。奇数月の第4土曜日に開催します。

第1幕は、「藤原不比等と元明天皇」をテーマに、5/22（土）に開催します。

3/27（土）の第6幕開催日より申込みを受け付けます。

※ 第2期図書館劇場友の会会員募集

3/27（土）の第6幕開催日より、図書館劇場友の会第2期会員募集の受付を開始します。

来年度の図書館劇場Ⅴ全6回のチケット付き、各回終了後には、館長文化サロンにご参加いただけます。

年会費3,000円。詳細は、募集チラシをご覧ください。